

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	工業・デザイン	科目：	デザイン実践	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	デザイン実践（実教出版）	副教材	デザインの色彩（日本色彩研究所） 書体サンプル集（国際文化カレッジ）				

年間指導目標：

- ＜デザインの重要要素＞レタリング検定に取り組みながらタイポグラフィの知識と技術を身につける。色彩の基礎を学び色の三属性を理解し、丁寧な作品を制作するための技術も身につける。また、デザインへの関心を高め、デザインの構成要素を学ぶ。
- ＜技法＞デザイン用具を上手く使い、素材を扱えるよう、実際に作品を制作しながらデザイン技法を身につける。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	レタリング技能、色彩と構成などのデザインの基本を身につけている。 また、デザイン用具の使い方、素材の取り扱いなど、基礎的なデザイン技法を身につけている。	習得した知識・技能をもちいて、レタリング技能検定に取り組んでいる。 また、適切なデザイン用具と素材を選び、みずからの作品を制作している。	表現のために必要であることを理解し、意欲をもって基礎的な知識と技能の習得に取り組み、作品制作に活かしている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	＜レタリングと文字の要素の理解＞ ①デザイン基礎の概要説明・展開授業の説明、デザインを学ぶために必要な事柄 ②レタリングの基本、デザイン用語・用具・用材・用法の理解	(知)	レタリング及びタイポグラフィの基礎知識を学ぶ。また、文字の要素や種類を理解する。	○	○				12
			(思)	レタリングの趣旨を理解して、骨格文字やスペーシング、拡大視写に取り組む。	○	○				
			(態)	積極的に意欲的に取り組んでいる。また、丁寧に作品に取り組む姿勢が身についている。		○		○	○	
1 学期	期末 考査	＜文字と形態・構成、タイポグラフィの理解＞ フリーハンドによる字体表現、拡大視写・演習 ＜技法＞ カッター等の用具を上手く使用し、作品を制作する。	(知)	レタリング及びタイポグラフィの基礎知識を学ぶ。デザイン技法のひとつであるモアレ現象を理解する。	○	○				12
			(思)	それぞれの知識をデザインの形に表現できるか、試行錯誤して形にする。	○	○				
			(態)	積極的に意欲的に取り組んでいる。また、丁寧に作品に取り組む姿勢が身についている。		○		○	○	

2 学期	中間 考 査	<色彩と形態・構成> 色の分類と三属性、PCCSを 中心に色に関する基礎的な 知識を身につける。色彩の 学習と並行して、形態や構 成の基礎を中心に学ぶ。	(知)	PCCSによる、トーン概念の理解。トーンのエ イメージと感情効果の理解。	○	○				16
			(思)	色を分析し、色の三属性を理解し、作品に取り入 れることができる。	○	○				
			(態)	積極的に意欲的に取り組んでいる。また、丁寧 に作品に取り組む姿勢が身についている。		○		○	○	
2 学期	期 末 考 査	<技法> スチレンボード等の素材を 理解し作品を制作する。	(知)	素材の特性を理解し、その加工法を理解する。平 面的な素材を工夫し、立体的にするため、空間把 握する。	○	○				16
			(思)	素材と加工法を理解し、立体作品を制作する。そ れぞれの知識をデザインの形に表現できるか、試 行錯誤して形にする。	○	○				
			(態)	積極的に意欲的に取り組んでいる。また、丁寧 に作品に取り組む姿勢が身についている。		○		○	○	
3 学期	学 年 末 考 査	<デザインの構成要素と技 法> デザインの表現技法を中心 に学ぶ。 <石膏によるハンドスカル プチャー> 各種素材や加工技法を学 び、造形をする。	(知)	バランス・コントラストなどデザインに含まれて いる要素同士の関連性を理解する。素材の特性を 理解する。		○				22
			(思)	デザインをオリジナルなものにするために、どこ にポイントを置くか考える。どのような形がハン ドスカルプチャーに合っているのか考える。		○				
			(態)	積極的に意欲的に取り組んでいる。また、丁寧 に作品に取り組む姿勢が身についている。		○		○	○	
合計										78